

学校教育目標

「一人一人の個性を伸ばし、自ら学ぶ生徒の育成を図る」

1. 「自ら学ぶ生徒」(知)
自律的で思考力に富む人間
2. 「心豊かな生徒」(情)
心豊かな潤いのある人間
3. 「よく働く生徒」(意)
たくましく実践力のある人間
4. 「体を鍛える生徒」(体)
健康ではつらつとした人間

敷島中「学校通信」

< 第 8 号 >

令和元年11月29日

文責 中満 一幸



合唱ってこんなに素晴らしいものなんだ♪



11月に入ると、毎日、美しい声が聞こえてきました。どのクラスも「合唱祭」に向けて素晴らしい取組をしていました。私も教室を周りながら、日に日に成長を感じていました。合唱祭当日が近づくにつれ、尖ってくる生徒、まだ燃え切れない生徒等もいました。グイグイ行こうとする生徒は、自分の正義感から、「素晴らしい学級合唱にしたい!」という思いが溢れていることも見て取れました。学級をまとめるには、相手の良いところを見つけて、相手を認め合いながらも自分の考えを伝えていく必要があります。合唱は、生徒にとって、自分が今取り組んでいることがこれでいいのか(自分の正義を疑うこと)を相手の立場に立って(相手軸)考えることが求められる取り組みでもあります。担任の先生方の思いも「熱さ」を帯びていたのは言うまでもありません。

気がつけば、11月14日(木)。あっという間に本番でした。芸術の秋、2学期後半のこの時期に合唱行事が行われる学校が多いようです。会場も自校の体育館だったり、学校外のホールを使ったりと、様々です。甲斐市内の5中学校の内、ホールで実施しているのは、竜王中・双葉中(桃源文化会館ホール)と本校です。ホールの使用料は公費(甲斐市)で負担してくださり、会場への交通費の一部には、保護者の皆さんにもご協力いただいた有価物回収(1学期)の収益を充てさせていただきます。皆さまの支援のおかげで、今年もYCC文化ホール(大ホール)のステージに敷島中生が立つことができました。

スタートの1年生の学年合唱「時の旅人」、2年生の学年合唱「名づけられた葉」、3学年合唱「群青」など、当日発表されたすべての曲には、練習の成果が発揮され、会場に見合う素晴らしいものだったと思います。講師の清水岳人先生(玉幡中)が、それぞれの学年の良さをていねいな講評でほめてくださいました。また、待機の様子や聴く態度、整然とした入退場など、発表以外の場面の落ち着きも文化行事に相応しいもので、たいへん立派でした。学校には、歌うことが好きで、得意な人だけが集まっているわけではありません。歌うのが苦手だったり、人の前に出るのはちょっと…という人もいるのが学校の集団です。合唱に取り組むのが苦痛になる生徒もいたかもしれません。取組期間には、助け合いながら合唱を創りあげてきたドラマがそこにはあるはず。このことを中学校生活の忘れられない思い出にしてください。

参観していただいた保護者の皆さま。ありがとうございます。当日333名の方にご来場いただきました。YCC文化ホール・大ホールで一番音響的に優れている場所は、2階中央最前列付近(保護者席)だと、本校の田中先生に伺ったので、当日午後からその場所で聴いてみました。確かに素晴らしい音響で合唱を鑑賞することができました。最後に、参観して下さった保護者の皆さまから、次のようなあたたかいコメントをいただきました。紙面上、一部紹介させていただきます。



♪日ごろきちんと取り組んでいる成果が出せた感じ。学年合唱は鳥肌が立ちました。

♪最高に良かったです。敷島中学校が75年。私と同年です。何十年前を思い出しました。楽しい時間を過ごすことができました。これからも頑張ってください！勉強・スポーツ・音楽、ファイト！応援しています。

♪心温まる時間をありがとうございました。2階席まで大きな歌声が響いてきました。成長を感じました。

♪生徒の皆さんからもらったパワーで今日からまた頑張れそうです。

♪希望にあふれているように歌っていると感じました。聴いているとジーンとこみあげるものがありました。

